

# そよかぜだより

令和2年4月発行

Vol.  
48

発行元

島根県雲南市三刀屋町古城45-6

TEL (0854) 45-0020 FAX (0854) 45-2895

社会福祉法人雲南広域福祉会

◆就労支援事業所 シャボン玉工房

◆生活介護事業所 にじいろ

◆共同生活援助(介護サービス包括型)事業所 レインボーハイツ

◆地域活動支援センター パレット

◆相談支援事業所 そよかぜ館

◆児童発達支援事業所 さくら教室

◆雲南障がい者就業・生活支援センター アーチ



令和2年度も

よろしくお願いいたします!



雲南広域福祉会では、「私たちは、みんなの権利が守られ、未来ある人生を自分で選び、幸せを追い求められるよう共に行動します」の理念の下、障がいのある方が地域で安心して生活できるよう当事者、家族、支援者、地域の方と一緒に一歩一歩進んでいきたいと考えています。シャボン玉工房、にじいろ、さくら教室等で各種事業を行っていますので、ご利用をお願いします。

社会福祉法人雲南広域福祉会 統括所長 藤原 靖浩



現在、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、各事業所において、検温・消毒のご協力をお願いしております。ご不便をおかけいたしますが、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

## 就労継続支援B型事業では

障がいのある方が、働く場として利用しながら自分らしい生活が送れるよう支援します。体調や希望に合わせて施設内外での作業を提供しています。

●新規利用者が増えています！また新しい作業への取り組みも行っています！

昨年度から新しく4名の方がしゃぼん玉工房の就労継続支援B型事業を利用されることになりました。利用者増に合わせて期間限定で新しく酒粕の梱包作業を行っています。酒粕の香りに包まれながら各キロ数に応じて酒粕を詰める作業は力と根気がありますが、皆さん黙々と集中して取り組んでおられます。新たな仲間を迎え、より一層しゃぼん玉工房はパワーアップしていきます！



※この酒粕は漬け込み用です。

## 就労移行支援事業では

働きたいと希望する方に対して、就職するための支援から、就職したあとも安心して働き続けられるように支援を行います。



### 令和元年度就職実績

就職者数	職種
2名	製造業・小売業



就職した会社で長く働き続けることができるよう仕事上のことだけでなく、生活面のサポートを行い会社に就職された後も引き続き応援していきます。

## 就労定着支援事業では

## 就職された方にインタビューしました！第2弾！

【石田さん】

平成30年11月、しゃぼん玉工房の就労移行支援事業から協栄金属工業株式会社に就職されました。

### ●仕事内容

「金属部品の加工、バリ取り、プレスなどの作業を行っています。」

### ●仕事で大変なことはなんですか？

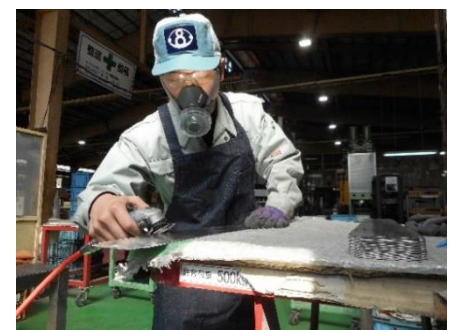
「数をこなさないといけないところ、傷が入らないように気を付けて製品を扱うことが大変だなと感じます。」

### ●仕事のやりがいはなんですか？

「仕事を任されているいろいろな種類の部品の加工ができるようになったこと、(仕事に対して)自分の意見を聞いてもらえて協力して仕事ができることにやりがいを感じます。」

### ●これから就職を自指す方に必要だと感じることは何ですか？

「自分が気を付けていたことはメモを取ること。そうすることで後から聞きなおすことなく正確に仕事ができます。また仕事の内容は自分では選べないものなのでどのような仕事でも取り組める集中力や我慢強さを持つことだと思います。」



## にじいろでは

生活に介護を必要とする方へ、日中活動のお世話やお手伝いをします。安心して日常生活を送るために、相談をお聞きます。一人ひとりに合わせた活動を通じて、自分らしく生き生きと過ごすことができるよう支援します。

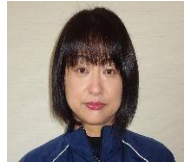
## \*3月16日(月)に陶芸教室を開催しました！

三刀屋町給下に窯元を構える永見克久先生にお越しいただき、ランプシェードを作成しました。土台となる型を使って、成型し、型抜きで思い思いにデザインして、オリジナルのランプシェードを完成させました！参加された皆様は、出来上がりに満足しておられ、次回への意欲満々で、終わることが出来ました。



## 職員あいさつ

4月からにじいろに異動になりました藤原里恵です。利用者さんと色々な活動を経験しながらたくさん学びたいと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。



## グループホーム レインボーハイツ

レインボーハイツ・いいしハイツ  
こじょうハイツ・はるひハイツ

## レインボーハイツでは

精神障がいや知的障がいのある方が一緒に暮らすことができます。みんなで楽しく暮らしていけるよう支援します。

## 行事紹介



レインボーハイツでは、4つあるグループホームの親睦を兼ねて、年2回利用者と職員で交流会を行っています。ゲストを迎えたり、皆さんと歌やゲームで盛り上がっています。

## 利用者の声

クリスマス会で、趣味の手話を披露しようと思い、一生懸命練習しました。本番は、緊張してあまり上手く出来なかったのですが、上手になりたいと思い、手話体験教室に参加してみました。

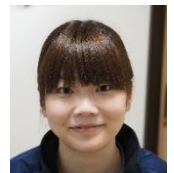


イラスト：Kさん作♪



## 職員あいさつ

4月からレインボーハイツに異動になりました古澤公子です。皆さんが笑顔で、楽しく、安心して暮らしていただけるよう精一杯努めてまいりたいと思います。よろしくお願い致します。



## パレットでは

皆さんに軽作業や創作活動の機会を提供したり、仲間づくりや交流活動を支援しています。

## 活動の紹介 ～出張支援センター～

飯南町に出向いて、あゆみの里・晴雲の里・当事者会サークル雲南のメンバーと一緒に、地域活動支援センターの活動を行いました。あゆみの里からは沢山の方に参加していただき、活動紹介もしていただきました。初めて参加された晴雲の里の方にも楽しんでもらうことができました。ふだん会えない仲間と交流し、リフレッシュしてもらえたと思います。



### 参加者の声

初対面の人や久しぶりに会う人がいて、話ができてよかった。風船バレーと室内ボウリングをしたが、点数を稼ぐゲームでどのチームも盛りあがって楽しかった。

## 参加者募集！ ～パソコン教室～

毎月第3水曜日に、講師の先生を招いて行っています。パソコン初心者の方でも、安心してパソコンに触れることができます。参加希望の方は、パレットまでご相談ください。



### 参加者の声

講師の先生が親切です。パソコン以外でもいろいろな話ができます。はじめはローマ字を打つのも大変でしたが、今はチラシを作れるほど上達しました。自慢できることが増えて、楽しいです！



## 手話体験教室



### 参加者の声

聴覚に障がいのある方の考えや、日々の暮らしでの不便なこと、そのための工夫などを聞き、勉強になった。

雲南地域の皆さんに、聴覚に障がいのある方のコミュニケーションの1つである手話を通して、“伝える”“伝わる”ことのすばらしさや大切さと聴覚障がいについて、知ってもらう機会にしています。

## 今年度の主な行事予定

期日	内容
6/27(土)	雲南障がい者グラウンドゴルフ大会
7/3(金)	雲南地域スポーツ大会
8/28(金)	家族研修会
9/18(金)	雲南障がい者スポーツ大会
10/18(日)	ふれあいまつり
11/6(金)	雲南地域当事者交流会
11/28(土)	家族交流会
3/5(金)	雲南障がい者ニュースポーツ大会

※予定は変更になる可能性があります。

そよかぜ館では

身体障がい、知的障がい、精神障がい、高次脳機能障がい、発達障がい、難病などのある方やお子さん、その家族から相談を聞き、支援を行います。

災害時に備え、日頃からの準備が大切です！

近年、日本各地で災害が起こっています。いつどこで起こるか分からない災害に対して、日頃からの準備がとても大切です。皆さんもできることから始めてみませんか？

たとえば・・・

保存のきく食料や飲料水の備蓄をする

- ・飲料水（1人1日3ℓが目安）
- ・非常食（アルファ米やビスケットなど）
- ・トイレットペーパー、ろうそく、懐中電灯など

非常時に持ち出すものを確認しておく

- ・お薬・白杖・補聴器
- ・医療機器（血糖値測定器・酸素ボンベ）など

避難場所や避難経路を確認しておく

ご家庭で相談しておくとお安いです。  
相談員と一緒に考えることもできます。



雲南市では、市内7つの相談支援事業所が中心となり、平時から災害発生時に備えた準備。方が一、災害に遭遇した時のための取り組みを少しずつ行っています。

昨年末より、市内在住の計画相談支援で関わっている方を対象に、災害時対応アセスメント票を一緒に作り、避難場所や、避難が必要な時にどんな支援があるかを確認しています。また、非常時に持ち出す必要のあるものや、災害時に備えた準備品等についても確認をしています。詳しくは担当の相談支援専門員にお尋ね下さい。

ヘルプマークをご存知ですか？



障がいのある方等が困った時に、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせ、援助を得やすくするためのものです。平時や災害時などに、適切な配慮や支援が受けられるよう普及に取り組んでいます。

ヘルプマークは島根県及び市町村の障がい福祉担当課で交付しています。ヘルプカードは島根県障がい福祉課のホームページでダウンロードすることができます。

島根県 ヘルプカード

検索

職員あいさつ

4月からそよかぜ館に異動となりました藤井利恵です。心機一転、新たな気持ちで一日一日を大事にしていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



さくら教室では

養育者がゆっくりなお子さんのため、一人ひとりの様子に合わせて、※療育を行っています。日々行う遊びを楽しみ、活動を楽しみながら、持っている力を引き出し、その力を日々の生活や人との関わりの中で活かせるよう支援します。

※療育とは・・・社会的に自立できるように取り組む治療と保育、教育のことです。早期に始めることが有効とされています。

こんねんど ぎょうじしやうかい  
今年度の行事紹介

こどもはったつしえんじぎょう かん ぎょうじ  
～子ども発達支援事業に関する行事～



5月・・・就学相談会

6月・・・ミニ運動会

10月・・・りんご狩り

12月・・・クリスマス会



9月～2月・・・ペアレントトレーニング（7回）

医師相談会（年3回）

言語聴覚士指導（年10回）

作業療法士指導（年4回）

ご希望の方はさくら教室までいつでもご連絡ください！！

※予定は変更になる可能性があります。



ほうかごとう じぎょう  
放課後等デイサービス事業

新型コロナウイルス感染症拡大予防のための休校措置に伴い、3月9日から、特別に朝から小学生の受け入れを始めました。

衛生面安全面に配慮しながら、好きな遊びや宿題をしたり、運動不足にならないようにラジオ体操や雑巾がけを日課にしました。

そんななか、職員が、おうちでとれた大きな2本の大根を持ってきて、子どもたちは「おばけ大根！」とびっくりした様子でした。

名前をつけたり、見て、触れて、持ち上げて重さあてクイズをしたりしました。

大根の重さは12kgでした。答えを投票箱に入れ、ニアピン賞が3人も出ました。結果発表の後、「持って帰りたい」との声があがり、家のお土産にしました。

みそ汁などを作ってもらって食べたそうです。



しよくいん  
職員あいさつ



4月から、さくら教室で働くことになりました林真紀子です。一つ一つの出会いを大切に、一生懸命頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

アーチでは

身体障がい、知的障がい、精神障がい、高次脳機能障がい、発達障がい、難病などのある方で、これから働きたいと考えている方や、現在働いている方の仕事や生活に関する支援を行います。

就労学習会

2月21日(金)に木次町のチェリヴァホールで障がいのある方の「働きたい!を実現するために」就労学習会を開催しました

体験発表

発表者：長野 健治 部長 西村 伸さん (JUKI松江 株式会社)



長野部長からは参加された皆さんへ「製造業は障がいのある方にとって働きやすい環境であり、モノづくりの楽しさに障がいの有無は関係ない。自分にできそうと思ったら挑戦を」と励ましのお言葉をいただきました。参加者の方からは「自分も頑張ろうと思った」「諦めずに続けることが大切だと勉強になった」との感想をいただきました。



歯科衛生講座

講師：雲南市役所 歯科衛生士 安部 美智野 さん

歯を失う主な原因は虫歯や歯周病であること、歯周病は生活習慣病とも大きく関わり、特に糖尿病とは深い関わりがあることなどをわかりやすくお話いただきました。後日、参加された事業所からは「声を掛けても普段はなかなか取り組まれない利用者の方が、早速取り組んでおられた」との声を聞くことができました。

- 健康な歯を保つために、
- ①丁寧な歯磨き
  - ②歯医者さんへ行く
  - ③生活習慣を見直す

在職者交流会

アーチでは働いておられる登録者の方を対象に交流会(ゆーとぴあ)を行っています。職業生活を安定・充実させるための研修や余暇を充実させるための交流、ストレス発散のためのお楽しみなど様々な企画を通して働く皆さんの応援をしています。

昨年度は…勉強会 →→→ 目標づくり、地域啓発、メンタルヘルスケア(ストレス対処) 交流 →→→ 他圏域の在職者の方とポッチャ(軽スポーツ)、昼食会 お楽しみ →→→ ボウリング、カラオケ、バス旅行 計画をし、多数の皆さんにご参加いただきました。今年度も皆さんに喜んでいただける交流会を考えていきたいと思っております。

今年度の予定

第1回	6月27日(土)	第4回	10月18日(日)
第2回	9月12日(土)	第5回	1月23日(土)
第3回	10月3日(土)		

予定は変更になる可能性があります。

職員あいさつ

4月からアーチに異動になりました竹久です。人が生きる中でも大切な、障がいのある方の「就労を支える」という分野で、また初心に帰る、日々学びながら、皆さんと一緒にサポートさせていただければと思っています。





『うなんん福祉・安全サポーター』による見守り活動開始

\* 雲南市社会福祉法人連絡会とは？

平成29年3月、市内14の社会福祉法人が地域における使命を果たし、社会貢献事業などにより地域の福祉を増進するため、会員相互及び行政機関との密接な連携を図ることを目的に発足しました。当法人も参加し、活動に取り組んでいます。

\* 『うなんん福祉・安全サポーター』について

この連絡会の活動として、雲南市・雲南警察署と連携を図りながら、みんなで力を合わせ犯罪のない安全で安心して暮らせる雲南市の実現に向けて取り組むことを目的に、昨年末より2つの活動をスタートしました。

① 法人公用車に『安全見守り中』のステッカーを張り、利用者送迎時等で「ながら見守り」により子どもや高齢者等の見守り活動を行います。

② 地域の防犯活動として、法人公用車（一部）にドライブレコーダーを取り付けて、犯罪や事故発生時の捜査等に協力します。



送迎や訪問など市内を移動しながら見守りをしています！

～みんなの広場～

梅の香りにはこぼれて今年も春がやってくる  
つらいことがあってもやわらかく吹く春の風  
桜の蕾が大きくなって今年も春がやってくる  
苦しいことがあってもおぼろにのぼる春の月  
時間が止まったような午後のやさしい日差し  
子猫が一匹あくびする  
星降る音がするような夜空  
子猫はなんの夢を見る  
(雲南市 A・Kさん)

そよ風に運ばる桜便りかな  
(雲南市 A・Kさん)

緑なるティッシュケースも美わしく  
みつめれば何か心はづまむ  
(雲南市 H・Kさん)

いまだ見ぬ君にしあれぞ春風に  
あなたの噂がバスの旅する  
(奥出雲町 I・Tさん)

